

渋谷公園通り 2040 デザインコンペ

- SHIBUYA PARK AVE. 2040 DESIGN COMPETITION -

募集要項

令和 5 年 11 月

【主催】

渋谷公園通り協議会コンペ実行委員会

審査委員長からのメッセージ

今、渋谷は100年に一度の大改造の最中です。この動きはまだ当分続きます。駅周辺が見えてきましたが、全部出来上がるのは10年以上先になります。なにせ250万人の乗降客がある世界でも有数のターミナルを、1日も止めずに作り替えるのですから仕方ありません。

それ以外にも周辺で大きな再開発が起きてきます。当面は再開発だらけですね。駅周辺の動向をきっかけに、それに続く第二期の開発に火がついたようです。やはり渋谷は多くの再開発を誘発するに足る魅力的な場所なのです。交通の結節点、谷という地形的要因、積み重ねてきた歴史、それらが折り重なって渋谷の魅力を作り出しています。今や渋谷はその潜在的な魅力が爆発しつつあるということもできます。

しかし、再開発は再開発です。所詮は巨大なマネーゲームです。その「地」となっている街がエネルギーを失ってはなんの意味もありません。渋谷の魅力はなんといっても谷地形に育まれてきた街の多様性だからです。個性的な街がたくさん分散していて、無数の迷路があり、そこにさまざまな種類の人が集まってくるのです。

渋谷は谷地形に自然発生的に生まれたビオトープみたいな街、と言ったことがあります。このビオトープは、巨大開発を飲み込み、エネルギーを吸い取り、それを栄養にし、その個性をより過激なものに展開していくでしょう。それには、渋谷が渋谷であり続けるための知恵とアイデアが要ります。

渋谷全体から見ると公園通り一帯は、まだ戸惑っている、大改造を受け止めきれないでいる、といった印象があります。これからNHKが完成すると、これまでとは違った空気がこの通りの周辺にも流れ込んでくるはずですが、渋谷が渋谷であり続けるために、公園通りが公園通りであり続けるために、新たな知恵が必要です。この地域の近未来を感じさせるような新鮮なアイデアを求めたいと思います。

渋谷公園通り 2040 デザインコンペ

審査委員長

内藤 廣

渋谷公園通り 2040 デザインコンペ

SHIBUYA PARK AVE. 2040 DESIGN COMPETITION

1. 本コンペの趣旨

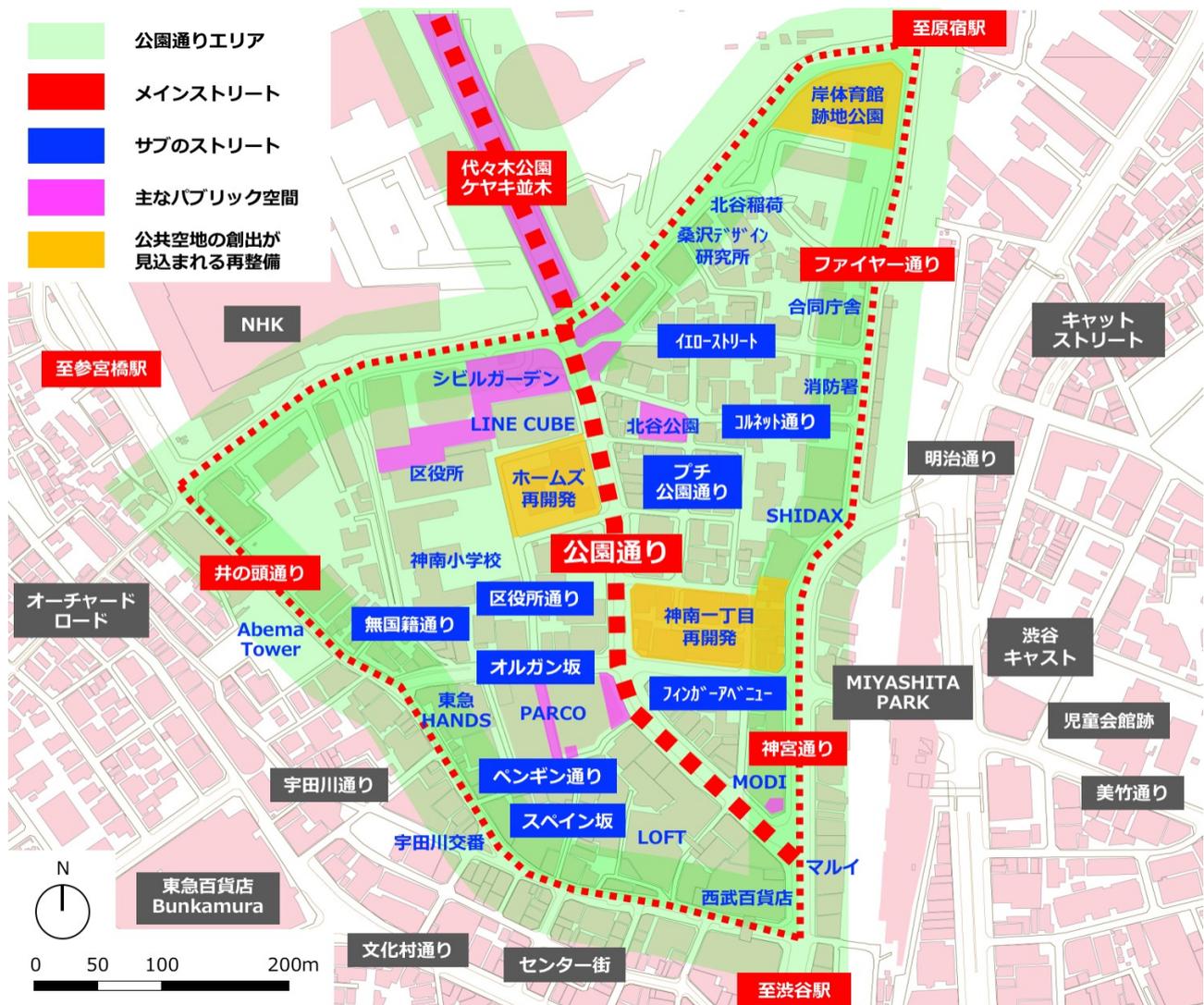
渋谷駅から代々木公園にかけての神南・宇田川エリア一帯は、メインストリートである公園通りを中心に、大小様々なストリートの沿道に個性豊かな店舗や文化創造施設・産業が集積し、80～90年代よりストリート文化発信の地としての賑わいを見せてきました。

2000年代に入り、渋谷駅周辺で「100年に1度」の再開発ラッシュが進むとともに、2020年に始まったコロナ禍で人出が減る中、公園通りエリアではまちなかを回遊する歩行者の数が減少するとともに、空きテナントが急増するなど、まちの生き残りをかけた局面に突入しています。

自然と街を歩きたくなる「ウォーカブルシティ」を目指し、エリア内に集積する文化施設やクリエイティブ産業、多種多様な公共空地、代々木公園のみどり等の地域資源も活かしながら、2040年の世界都市・東京を代表するメインストリート「公園通り」とその周辺エリアのデザインを渋谷の街から提案してください。

1) 対象エリアの概要

- ① 渋谷区の上位計画である「渋谷区まちづくりマスタープラン」、及び「神南・宇田川周辺地域まちづくり指針」において、広域的にウォーカブルシティを目指す中で、本エリアでは、様々な人が集う職住遊を融合させたまちづくりを行っています。
- ② 公園通りを中心に、東は神宮通り～ファイヤー通り、西は井の頭通り～無国籍通りといった個性溢れるストリートが、渋谷駅と代々木公園を繋いでおり、ウォーカブルシティ実現に向け、より有機的な連携が求められています。
- ③ 本エリア内には、主要なストリートに隣接して、多種多様なパブリック空間（代々木公園イベント広場、シビルガーデン、北谷公園、岸記念体育館跡地（都有地・公園化予定）、再開発による公開空地（渋谷 PARCO 前など））が存在するため、エリア全体で一体的な利活用を検討することで、更なる街の価値向上が期待できます。
- ④ 日本を代表する代々木公園に通じる「渋谷からの正面玄関ルート」として、公園の持つ「緑や憩いの環境」が渋谷中心街の「多様性」と融合する、先進的なエリアマネジメントモデルの構築を目指しています。
- ⑤ コロナ禍での来街者減少への対応、屋外空間も活用した都市空間の質的向上の必要性も踏まえ、渋谷区をはじめ関係諸団体と連携し、アフターコロナを踏まえた、公園や広場空間と街が融合した新たなまちづくりを実現したいと考えています。



2) コンペ開催に至る経緯

渋谷公園通商店街振興組合では、理事を中心にまちづくりへの関心の高いメンバーを集めた専門部会である「エリアマネジメント委員会」を組成し、エリアの将来像に関して意見交換や事例研究を行い、エリアマネジメントの必要性についての啓蒙を行ってきました。

また、様々な社会実験・イベントや一般市民に対する啓蒙活動を主体的かつ積極的に開催するとともに、時代の変化にも対応しながら街のにぎわいづくりと活性化を目指すべく、2021年に官民連携の「渋谷公園通り協議会」を立ち上げ、以下のような活動を展開してきました（※詳細は「渋谷公園通りデザインノート」を参照のこと）

■ 2021年度

- ・ 歩行環境・歩行者行動調査：エリア内の歩行環境と歩行者の回遊行動・滞留行動について調査・分析を実施。
- ・ 滞留空間創出の実験：道路占用のコロナ特例を活用した仮設の休憩装置の設置、及び植栽帯を活用した半常設のデッキ空間の整備を実施。
- ・ まちづくり講演会：3回開催。Youtubeで動画を配信する等、組合員のみならず一般に対しても啓蒙活動を実施。
- ・ フラワーフェスティバル：5月開催。公園通りの花壇を活用して花で人と街をつなげるイベントを開催。
- ・ 青の洞窟：12月開催。例年300万人を超える来場者を迎える冬のイルミネーションイベントを開催。

■ 2022 年度

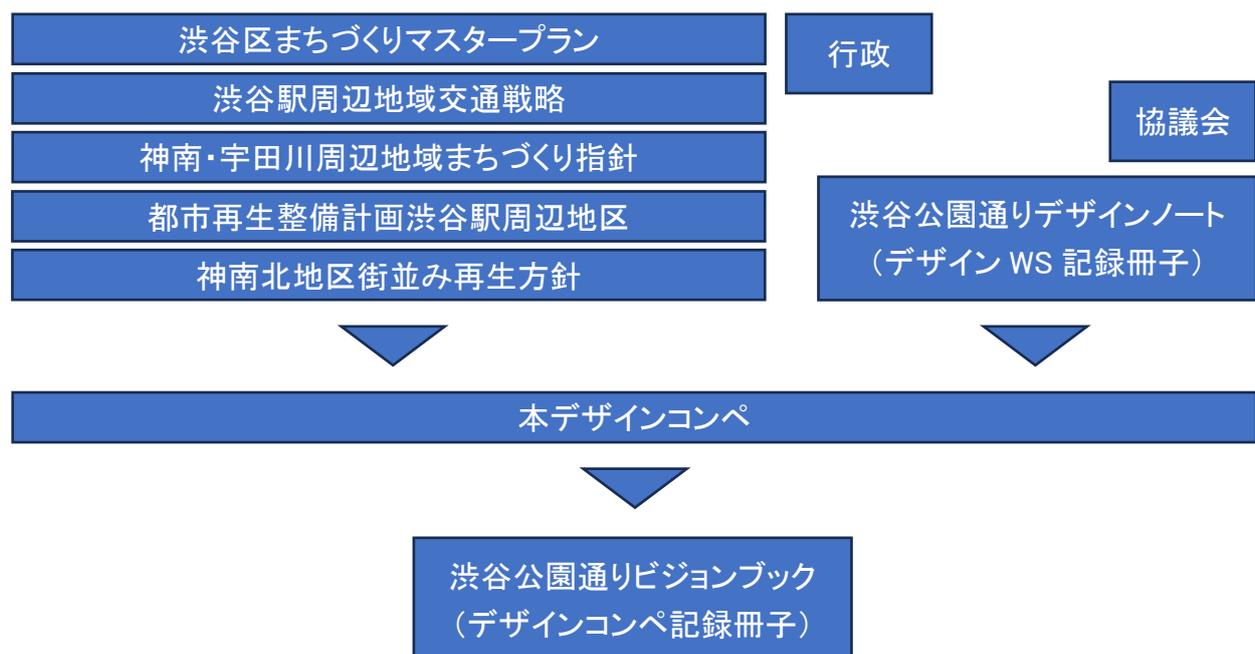
- ・ 交通調査：公園通りの交通規制も視野に入れた社会実験に向けた自動車交通・歩行者通行量の調査を実施。
- ・ 渋谷パークアベニューJazz Festival：5月開催。北谷公園でのジャズイベントの開催に合わせ、公園に面する区道での交通規制、仮設什器による滞留空間創出の実証実験を実施。
- ・ フラワーフェスティバル：5月開催。公園通りの花壇を活用し、コンテストを開催するなど花で人と街をつなげるイベントを開催。
- ・ NHK交響楽団路上ライブ：7月開催。公園通りでの演奏会等を通じた公共空間連動型のイベントを開催。
- ・ 渋谷音楽祭：10月開催。北谷公園にて、歩行者が足を止めたいくなるような目的地としての音楽空間を創出。
- ・ JINNAN MARKET：10月開催。北谷公園および道路の歩行者専用化を行い、フリーマーケットや地域住民向けのイベントを開催。
- ・ SHIBUYA GALAXY SEATS：12月設置。滞留空間の創出と企業とのコラボによる、商店街フラッグと連動した新たな広告事業のスキームを検証。
- ・ 青の洞窟：12月開催。例年300万人を超える来場者を迎える冬のイルミネーションイベントを開催。
- ・ シンポジウム・ワークショップ：5～8月、11月、12月開催。未来ビジョン策定に向けたデザインワークショップやSIWなどを通して、街区内外への取組やビジョン検討、構想の発信を強化。

■ 2023 年度

- ・ JINNAN MARKET：4月・7月開催。北谷公園を中心にブチ公園通りを一体的に活用したフリーマーケットや地域住民向けのイベントを開催。
- ・ フラワーフェスティバル：7月開催。公園通りの花壇を活用し、コンテストを開催するなど花で人と街をつなげるイベントを開催。
- ・ SHIBUYA MOTIF：公園通りの歩道上にベンチを5機常設し、来街者に憩いの場を提供。

3) コンペの位置づけ

本コンペは、官民連携のエリアプラットフォームである「渋谷公園通り協議会」が主催するものであることから、「渋谷公園通りデザインノート」に掲げられた協議会のまちづくりの方針や戦略、及び渋谷区の各種計画との整合性が求められます。また、本デザインコンペの成果の一部は、エリアの将来像を描いた「渋谷公園通りビジョンブック（仮称）」としてとりまとめられる予定です。



2. 募集内容

1) 課題

以下の4点についてのアイデアを提案してください。

① 「公園通りエリア」としてのデザインコンセプト

公園通りを主軸として東西に広がる神南・宇田川地域も含めた「公園通りエリア」において歩行者中心のウォーカブルな街を実現するにあたり、面的にどのようなコンセプトの下に空間デザインを目指すのか、提案してください。

② 「公園通りエリア」内のパブリック空間活用方針

持続可能なエリアマネジメントの実現に向けて、公園通り・プチ公園通りをはじめとする街路空間、北谷公園やシビルガーデン、代々木公園けやき並木、PARCO 公開空地をはじめとする既存のパブリック空間に加え、今後予定される再開発で整備されるパブリック空間も含めた公園通りエリア内の公共的空間の活用方針（使い方・収益化）を提案してください。

③ メインストリート「公園通り」のデザイン（重点課題1）

歩行者中心のウォーカブルな街の実現に向けて、国内外では歩行空間の拡大や歩車共存の導入、歩行者モール化、トランジットモール化、スーパーブロック、タイムシェア、交差点の広場化など、様々なアイデアが取り入れられている中、渋谷駅と代々木公園をつなぐメインストリートである「公園通り」の街路空間デザインを、沿道の土地利用や今後予定される再開発との連携、エリア内の交通のあり方も意識しながら提案してください。「絵に描いた餅」とならないよう、実現に向けた空間再編のプログラム（実現方策）もセットで提案してください。

④ プチ公園通りを含む「神南エリア」における街路空間のあり方（重点課題2）

「プチ公園通り」を一つの軸として南北に広がる「神南エリア」について、北谷公園や沿道の土地利用、さらには今後予定される再開発との連携も意識しながら、回遊性の高い街路ネットワークのあり方（空間デザイン・使われ方・交通処理など）を提案してください。

2) 対象者

都市、建築、土木、ランドスケープ、まちづくり、デザイン等に関する職能に従事する者、及びこれらを専攻する学生

3) 対象エリア

課題① 公園通りエリア全体

課題② 公園通りエリア内の活用できそうなパブリック空間全て

※ 既存のパブリック空間に加えて、今後予定される再開発や自身の提案で捻出を想定する新たなパブリック空間も含む

課題③ MODI 前から代々木公園けやき並木までの公園通り

- ※ 沿道の土地利用に対する提案も可能とする

課題④ プチ公園通りとその周辺街路

- ※ 周辺街路の設定範囲は提案者の判断に委ねるものとする

4) 提案内容及び提案者の取り扱い

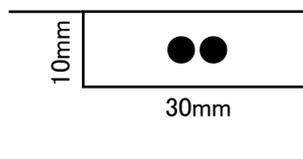
- ・ 優れた応募作品の提案者については、渋谷公園通りエリアの空間デザインの実現に向けて、今後、渋谷公園通り協議会が取り組むまちづくりに対するアドバイザー、及び具体的な事業に係る検討メンバーとしての参画等を依頼することを想定しています。
- ・ 優れた応募作品のアイデアについては、渋谷公園通り協議会が今後作成する「ビジョンブック（仮称）」に掲げるエリアの空間デザインやパブリック空間活用方針の具体的なイメージ等として活用（冊子や WEB への掲載等）することを前提として検討します。

5) 提出物

① 応募作品パネル（A2 縦・2 枚）

- ※ 縦長方向、片面で作成してください
- ※ 材質・紙質は自由ですが、耐久性に考慮してください
- ※ 厚さは 5mm 程度のパネルに貼って提出してください
- ※ パネルの右上に必ず登録番号を表記してください（右図参照）

フォント:MS ゴシック・12pt



なお、以下の事項は必ず記載・表現してください

- 1) 作品タイトル
 - 2) 課題①：デザインコンセプトとその理由
 - 3) 課題②：公園通りエリア内のパブリック空間の使い方がわかるパース等
 - 4) 課題③：公園通りの空間デザインや使い方がわかる図面やパース等
 - 5) 課題④：プチ公園通りとその周辺街路の空間デザインや使い方がわかる図面やパース等
- ※ 提出作品に、応募者氏名、所属などがわかるものは記入しないでください

② 応募作品提出票（様式 1）

③ ①・②を PDF データ化して CD 又は DVD に記録したもの

- ※ ①応募作品パネルのデータは、2 枚まとめて 1 データにしたものを提出してください
- ※ ①応募作品パネルのデータは、オリジナル版と審査用版の 2 種類を提出してください
- ※ ①応募作品パネルのデータは、ファイル名をそれぞれ「登録番号_オリジナル.pdf」・「登録番号_審査用.pdf」としてください
- ※ 審査用版の①応募作品パネルデータは、50MB 以下にしてください

6) 応募作品の提出方法

- ・登録期間：11月6日～1月31日
 - ※ 登録は下記リンク又は右のQRコードの登録フォームより参加登録を行なってください
 - ※ 参加登録後、登録番号を登録受付メールで発行します
 - ※ <https://forms.gle/8ccH4Fccer5w66RH9>
- ・応募受付：郵送 | 12月1日～2月2日（必着）
持参 | 1月29日～2月2日の9:00～17:00
 - ※ 提出先の住所等は参加登録後に登録受付メールにてお伝えします



登録フォームQRコード

7) 賞と賞金

- ・最優秀賞：賞金 300 万円（1 作品）
- ・優秀賞：賞金 70 万円（1 作品）
- ・佳作：賞金 10 万円（数作品）

3. スケジュール

募集要項公表 説明動画配信開始	令和5年11月6日（月）
応募登録期間	令和5年11月6日（月）～令和6年1月31日（水） ※応募される場合は、まず応募登録を必ず行ってください 登録後、登録番号を発行するとともに、関連データを送付します
質問受付期間	令和5年11月6日（月）～令和5年11月26日（日）
質問回答（最終）	令和5年11月下旬
応募受付	令和5年12月1日（金）～令和6年2月2日（金）（必着）
1次審査	令和6年2月上旬
1次審査結果通知	令和6年2月中旬
プレゼンテーション 2次審査・表彰式	令和6年3月16日（土）午後 場所：渋谷ソラスタ コンファレンス
応募作品展示会	令和6年3月18日（月）～3月31日（日） 場所：渋谷区役所 15階スペース428

4. 審査

1) 審査方法と審査の流れ

① 一次審査（令和6年2月中旬）

全応募作品から二次審査に進む作品は5件程度の作品数を予定しています。

一次審査通過者には、個別にプレゼンテーションの案内を通知します。

一次審査は非公開となっております。

プレゼンテーションに参加できない場合、二次審査に進めません。

② プレゼンテーション（令和6年3月16日）

渋谷ソラスタ コンファレンスにて公開でのプレゼンテーションを行います。

1作品あたり発表時間12分、質疑15分を行います。

③ 二次審査（令和6年3月16日 | プレゼンテーション同日直後）

プレゼンテーション後、審査委員会による公開での最終審査を経て各賞を決定します。

2) 審査委員会

以下の有識者による審査委員会を組織し、審査を行います。

なお、プレゼンテーション・二次審査はオンラインによる公開方式で実施します。

委員長：内藤 廣 氏（内藤廣建築設計事務所 代表取締役／多摩美術大学学長）

委員：小野寺 康 氏（小野寺康都市設計事務所 代表）

委員：西村 浩 氏（ワークヴィジョンズ 代表取締役）

委員：林 千晶 氏（ロフトワーク共同創業者・相談役／株式会社 Q0 代表取締役社長）

委員：今 佐和子 氏（国土交通省 都市局 都市政策課 課長補佐）

委員：西村 亮彦 氏（国土館大学 准教授／渋谷公園通り協議会 理事）

委員：川原 恵 氏（渋谷公園通り協議会 会長）

委員：奥野 和宏 氏（渋谷区 まちづくり推進部長）

3) 審査の視点

下記の評価項目での審査を予定しています。

審査の視点は、審査委員会の判断により追加される場合があります。

審査結果について、質問や異議には応じられません。

1. 独創性：東京を代表する競争力のある提案であること

2. 地域性：協議会の掲げるまちづくりの方針に合致すること

3. 将来性：将来を見据えて実現可能な提案であること
4. 持続可能性：エリア価値向上/収益化に寄与する提案であること

5. 質問及び回答

1) 受付

登録者のみ、以下の方法で質問の提出が可能です。

受付期間：令和 5 年 11 月 6 日（月）～令和 5 年 11 月 26 日（日）

回答時期：令和 5 年 11 月中旬～下旬を想定しています

受付方法：質問は下記リンク又は右の QR コードの質問フォームより行なってください。

※ <https://forms.gle/hUtafsGy1FFwqGi66>

※ 応募者の公平性を保つため、電話による問い合わせにはお答えできません。



質問フォーム QR コード

2) 回答

回答は適宜ウェブサイトに掲載し、最終回答は令和 5 年 11 月下旬を予定しています。

なお、最終回答をもって本募集要項の追加、修正及び解釈に関する補足とします。

3) 質問内容

質問内容は、本募集要項及び提出等に関するもののみとし、審査（評価）に関する質問は受け付けません。また、質問者の個人的な意見や、事務局に対して提案内容への見解を求める質問等は受け付けません。

6. その他

1) 失格

以下の事項に該当する作品については、審査対象から除外します。また、入選発表後であっても入選の取消や賞の返却を求める場合があります。

- ① 応募作品提出票（様式 1）の記載内容に明らかな虚偽があるもの
- ② 応募期限内に提出されなかったもの
- ③ 既に発表された作品と同一または類似のもの、あるいは著作権・意匠権等、財産権の侵害であることが明確となったもの
- ④ 生成 AI を活用したにも関わらず、提案作品のどの部分にどのように活用したかを応募作品提出票（様式 1）に具体的に明記しなかったもの
- ⑤ その他、当募集要項の内容に明らかに違反するもの

2) 著作権等について

以下の事項をあらかじめご理解いただいた上で、応募してください。

(著作権等の帰属等)

- ① 応募作品の著作権・意匠権等の知的財産権（以下「著作権・意匠権等」という）は、応募者に帰属します。したがって、応募者が応募作品について著作権・意匠権等に関する権利の取得または然るべき保護を必要とするときは、自らの責任でその手続きをするものとし、応募作品についての権利の登録状況、使用実績・第三者への利用許諾の有無および内容を応募時に明記してください。

(著作物等の引用等)

- ② 応募者が、他者が著作権・意匠権等を有している著作物等を応募作品の中で引用し、本コンペに応募し、第④～⑥項に基づいて、渋谷公園通り協議会が当該応募作品を使用することにより、当該他者との間で著作権侵害等のトラブルが発生した場合の責任は、全て応募者が負うこととします。したがって、他者が著作権・意匠権等を有する著作物等を応募作品中に引用する場合、必要に応じて、当該著作権・意匠権等の利用許諾、対価の支払、著作者人格権の不行使の同意等の然るべき手続きは、応募者自身で行ってください。

(著作者人格権の不行使)

- ③ 応募者は、第④～⑥項に基づく渋谷公園通り協議会による応募作品の使用に対し、著作者人格権の行使をしないものとし、応募作品中に引用された著作物の著作者に著作者人格権の行使をさせないものとします。

(作品の使用等)

- ④ 応募者には、渋谷公園通り協議会が、応募作品およびその著作権・意匠権等の全てまたは一部を、渋谷公園通り協議会のまちづくりの検討に無償で使用することを許諾していただきます。また、提案内容を含め応募作品の内容を一部改変して無償で使用することも許諾していただきます。使用にあたっては、渋谷公園通り協議会・渋谷区が、広報活動等で使用を必要とする場合、種々の媒体を通して無償で応募作品を使用することを許諾していただきます。
- ⑤ 応募作品は、展示や作品集の発行等の方法により、公開（電子メディアによる公開も含みます）することを予定しています。
- ⑥ 前2項の場合のほか、渋谷公園通り協議会が、応募作品を審査、記録等のために複製することを許諾していただきます。

(同意事項)

- ⑦ 応募者（グループ等での応募の場合はグループ等の構成員全員）は、このコンペに応募することで、ここに記した事項に同意したものとみなします。

7. 提供資料

提供資料は、応募登録者にのみ配布します。

1. エリアの概略図面（エリア平面図・主要街路断面図・主要交差点平面図）
2. 岸記念体育館跡地・公園通り西地区・神南一丁目地区等、今後予想されている再開発に関する資料（公開可能な範囲）
3. 交通量調査・歩行者通行量調査の結果

※ 配布は登録時に頂いた E-mail アドレスへのデータ送付を基本とします。

※ 公園通りやプチ公園通り等の街路幅員構成は、渋谷区の道路台帳をご参照ください。

※ 提供資料の使用は本コンペの応募目的に限り、その他の目的での使用を禁止します。

8. 参考資料

資料は個別には提供しませんが、以下のウェブサイトからダウンロードできます。

- ・ SHIBUYA PARK AVE. DESIGN COMPETITION 募集要項等
<https://www.koen-dori.com/feature/detail/?cd=000037>
- ・ 渋谷公園通りデザインノート
<https://www.koen-dori.com/designbook2023.pdf>
- ・ 渋谷区まちづくりマスタープラン
https://www.city.shibuya.tokyo.jp/kusei/shisaku/shibuyaku-design-plan/machi_mas.html
- ・ 渋谷駅周辺地域交通戦略
https://www.city.shibuya.tokyo.jp/kankyo/shuhen-machizukuri/eki-kanreplan/syuhen_koutu.html
- ・ 神南・宇田川周辺地域まちづくり指針
https://www.city.shibuya.tokyo.jp/kankyo/shuhen-machizukuri/eki-machizukuri/jinnan_udagawa_shishin.html
- ・ 都市再生整備計画渋谷駅周辺地区
<https://www.city.shibuya.tokyo.jp/kankyo/shuhen-machizukuri/eki-machizukuri/toshisaisei.html>
- ・ 神南北地区街並み再生方針
https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/seisaku/fop_town/pdf/syare04_housin_11.pdf
- ・ 渋谷区地図情報システム（道路台帳含む）
<https://www2.wagmap.jp/shibuya/Portal>

9. 問合せ先（事務局）

〒102-0083 東京都千代田区麴町 2-10-13

中央復建コンサルタンツ株式会社 計画系部門 事業創生グループ内

渋谷公園通り 2040 デザインコンペ事務局

TEL: 070-1345-7098

E-mail: Shibuya-park-ave_2040design_competition@cfk.co.jp